

別中ありがとう

別所中学校学校通信
2022年度 NO.4
6月30日(木)発行

七夕に思うこと

6月の終わりとともに2022年、令和4年の半分が過ぎようとしています。半年前、「あけましておめでとうございます。」のあいさつをして初詣に出かけた人もいますが、どんな願い事をしたか覚えていますか？半年が過ぎた7月には同じように願い事をする七夕の風習があります。では誰に願い事をするのでしょうか？



皆さんが知っているように七夕は、7月7日に織姫と彦星が年に一度出会うことができる日です。秋の豊作を願う際に神様が着る着物を織っていた織姫と牛飼いの彦星が結婚したことから仕事をせず2人で遊ぶようになり、怒った神様が2人を天の川を挟んで引き離してしまいました。年に一度会えることになった2人はその日のために頑張っているようになった、というのが七夕にまつわるお話です。そんな日にお願いごとをするのは、はた織りや裁縫が上手だった織姫にあやかってものごとの上達を願ったことが始まりといわれています。つまり、願い事をする先は織姫ということになります。織姫の星とされている琴座のベガという星に願いをこめるといいう考え方もあるようです。

願い事というと「〇〇できますように」「〇〇なりますように」といった内容を思い浮かべることが多くなりますが、織姫は願い事をかなえてくれるのでしょうか？お願いはするけれども、それをかなえることができるのは自分自身です。

願いに向けて頑張る自分を大切にしてください。

学習や部活動などで「成績が上がりますように」「プレーが上手になりますように」といった願い、「成績を上げる」「上手になる」と書くと目標ともいえるかもしれませんが、そこに向かって頑張るのは自分であり、そんな自分を大切にしていけるのも自分です。7月は1学期の振り返りの時期になります。頑張った自分を振り返り、願い、目標に向けて気持ちをあらたにしましょう。

《保護者・地域の皆様へ》

本格的な暑さを感じる時期となってきました。暑さの中の教育活動では熱中症への配慮が必要となりますが、特にマスクの脱着については会話を行う活動か、身体的な距離を確保できるかを基準に考えるよう指導しています。具体的には、自転車などの通学時、体育の授業や運動部活動などは着用の必要はないとしています。屋内であっても会話をほとんど行わない活動の場合も同様です。しかし、2年以上におよぶマスク生活を経験してきた生徒の中には、マスクを外すことに不安を感じる生徒もあります。外す、着用する、の判断はそのどちらも尊重しながら、水分補給などの熱中症対策はしっかりするよう生徒と確認しています。

学校では7月2日(土)にオープンスクール、地区懇談会を、7月14日(水)には別所まちづくり協議会と協力して学校周辺のクリーンキャンペーンを実施します。併せて7月14日(木)・15日(金)・19日(火)・20日(水)に三者懇談を予定しています。ご多用のこととは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

学校長 坂田 直裕